

J E C 「諫早湾干拓問題検証委員会」

第 4 回全体会議／議事資料

2020/07/25 (12:30～14:30) (Zoom 会議)

(寺西メモ)

1. 出席予定者 (敬称略) :

・ゲスト講師：田中克 (京都大学名誉教授)、・特別参加：森明香 (高知大学)

(顧問) 保母、(全体総括) 寺西、山下、石田、(WT1) 碓山、宮入、関、菅波、

(WT2) 大森、西林、中山、(WT3) 藤谷、石倉、羽島、渡邊、川尻、

(WT4) 磯野、大久保、長島、(オブ) 堀、白井、平田、(記録担当) (未定)

2. これまでの経緯の確認 (第 1 回会議以降) :

* 2020 年 04 月 25 日 : 「諫早湾干拓問題検証委員会」第 1 回全体会議 (Zoom 会議)。

* 2020 年 05 月 04 日 : WT3 (藤谷チーム) 第 1 回研究会合 (Zoom 会議)。

* 2020 年 05 月 08 日 : WT1 (碓山チーム) 第 1 回研究会合 (Zoom 会議)。

* 2020 年 05 月 10 日 : 諫早湾干拓事業関係新聞記事 PDF データの検証委 ML 配信。

* 2020 年 05 月 16 日 : WT3 (藤谷チーム) 第 2 回研究会合 (Zoom 会議)。

* 2020 年 05 月 26 日 : 「諫早現地視察 (3 月 16 日) 報告 (暫定版)」(別紙、配信)。

* 2020 年 05 月 27 日 : WT4 (磯野チーム) 第 1 回研究会合 (Zoom 会議)。

* 2020 年 05 月 30 日 : 「諫早湾干拓問題検証委員会」第 2 回全体会議 (Zoom 会議)。

* 2020 年 06 月 06 日 : WT2 (大森チーム) の研究会合 (Zoom 会議)。

* 2020 年 06 月 13 日 : ETV「引き裂かれた海～長崎・国営諫早湾干拓事業の中で」放映。

* 2020 年 06 月 27 日 : 「諫早湾干拓問題検証委員会」第 3 回全体会議 (Zoom 会議)。

* 2020 年 07 月 25 日 : 「諫早湾干拓問題検証委員会」第 4 回会議 (Zoom 会議)。

3. 主な議題等 :

(1) ゲスト講師：田中克先生からの報告と質疑応答&総合討論。

・「有明海再生」への取り組みについて (仮題) (30～40 分程度)

・質疑応答&総合討論

> 前回 (第 3 回全体会議) における、宮入報告、碓山コメント、関コメント、菅波コメント、保母総括コメントも含めた総合討論

> 特別発言：森明香 (先の「球磨川水害」の現場調査から)、など。

(2) 「第 2 期」における基本方針と各 WT の現地調査プランについて。 > 別紙、参照

(3) 『環境と公害』50 巻 1 号 (小特集：諫早湾干拓問題)、予定どおりに刊行。

(4) 次回以降の全体会議の予定について。 日程案：ex. 8 月 22 日 (土) ?

> 寺西提案：現場取材ジャーナリストからヒヤリングするのはいかがでしょうか？

・NHK 福岡拠点放送局：吉崎健さん ・西日本新聞社：山本敦文さん

・長崎新聞社：高比良由紀さん

(以上)

(別紙)

＜諫干検証委＞「第2期」における基本方針と各WTの現地調査プランについて

1. ＜諫干検証委＞の大まかな取り組みスケジュール(案):

第1期(2020年4月～6月):

＞WT 毎の検証課題・テーマの絞り込み、これまでの諸資料等の読み込みなど

第2期(2020年7月～9月):

＞WT 毎ないし複数のWTあるいは全体での現地調査等の手配・実施など

第3期(2020年10月～12月):

＞WT および全体での検証作業の中間とりまとめと総合調整など

第4期(2020年1月～3月):

＞WT および全体での検証作業の最終とりまとめ(報告書作成)と「提言書」の作成・公表

(＊以上の期間で、適宜、現地ないし東京でのシンポ等の企画もありうる。ex. 公弁連シンポなど。)

2. 各WTによる現地調査プランについて(2020年7月25日現在):

＜WT1(碓山チーム)＞(碓山、宮入、関、菅波+保母)

・予定日程:2020年8月26日(水)～8月28日(金)

・訪問先(ヒヤリング先)の予定候補(案)

①長崎県農林部諫早湾干拓課

②総務部財政課:HPは2007年度決算以降の情報

③国交省長崎河川国道事務所 または、同事務所諫早出張所(河川):本明川の洪水対策

④長崎県農業振興公社長崎事務所 または諫早事務所:農地リース問題(WT3と調整)

⑤諫早市・雲仙市の財政課、河川課・農地保全課(内水被害対策) など

⑥時津良治さんはじめ市民のみなさん:現地の現況、運動の現状と課題など

＜WT2(大森チーム)＞目下、検討中

＜WT3(藤谷チーム)＞目下、検討中(日程的には、9月初旬か?)

＜WT4(磯野チーム)＞全体の方向性等がもう少し明確になってから検討する。

3. ＜諫干検証委＞の全体顧問・保母武彦先生からの助言:

＜諫干検証委＞の「調査・検討について」

①アセスメントの検証。湾の環境生態系と魚介類、干拓農業、防災に関する事業計画&アセスメントの不正確さを検証する必要がある。

・諫干のアセスメントに類するものは多数あり、作成時期もまばら。諫干事業を正当化するためのアセスの批判により、農水・長崎県の事業固執の正当性の根拠が崩れる。

・検証の方法は、事業計画&アセスメントの予測と現状との乖離の検証。漁民・農家の

証言だけでは議論の余地を残す。予測も現状も、可能な限り数値により、反論の余地を残さないこと。現状の数値は、官公庁・公的試験研究機関の数値を使うこと。

- ・住民説得のために、農業・防災効果を過大評価し、環境・生態系破壊を過小評価して諫干事業（計画）を正当化させるアセスメントではなかったか。各メンバーの調査内容において、「アセスと現状」対比を明確にして欲しい。

②諫早湾・有明海再生について、あるべきビジョン、提言の方向性を明確にできないか。

- ・将来の方向性として選択肢を3パターンほど提示。

選択肢1. 諫干施設を現状存続

選択肢2. 昔の干潟（生態系）に返す。潮受堤防・農地等を除去

選択肢3. その他の方策

*上記の基本形を基にして、一定の補強、修正は各選択肢の「亜種」扱い。

- ・それぞれの方向で必要となる対策、追加工事。今後の財政・県民負担は？
- ・メリット・デメリット（自然環境・生態系、地域経済、地域社会の持続可能性など）の検出、及び、3 選択肢の比較考量。最も望ましい選択肢はどれか？
- ・各メンバーの調査内容は、各自の担当分野から始めるとしても、最終報告書の提言のあるべき姿を念頭において調査作業を進めて頂きたい。

3. <諫干検証委>総括責任（寺西）からの今後の基本方針（案）について:

- (1) 各 WT による現地調査等も踏まえつつ、今秋の10月～12月の「第3期」において、WT ごとに、<諫干検証委>としての「報告書」の原案執筆をお願いしたい。
- (2) 上記の<諫干検証委>「報告書」の構成案は、次のようなものを想定している。

~~~~~

まえがき（寺西）

序 章（保母）

第Ⅰ部：（WT1 の検証を踏まえた論稿）

第1章：（宮入）

第2章：（菅波）

第3章：（関）

第4章：（碓山）

第Ⅱ部：（WT2 の検証を踏まえた論稿）

第5章：（大森）

第6章：（中山）

第7章：（西林）

第Ⅲ部：（WT3 の検証を踏まえた論稿）

第8章：（藤谷）

第9章；（石倉）

第10章：(羽島)

第11章：(渡邊)

第12章：(川尻)

第IV部：(WT4の検証を踏まえた論稿)

第13章：(磯野)

第14章：(大久保)

第15章：(長島)

終章：(寺西・山下)

あとがき(山下)

~~~~~

(3) 上記の<諫干検証委>「報告書」の作成を踏まえ、「第4期」(2021年1月~3月)においては、地元関係者や一般市民に向けて、分かりやすく、かつ、説得力のある内容での「提言書」の作成に取り組み、新年度(2021年度)以降、その公表に合わせる形で、地元および東京での市民公開シンポジウムや連続セミナー等の企画・開催を考えたい。

(4) その他の企画案など：

たとえば、地元紙(西日本新聞、長崎新聞など)において、諫早湾干拓問題について多角的な視点から改めて検証する「連載記事シリーズ」などの企画はできないか？

(>西日本新聞の山本敦文さんなどに、一度、相談してみたい。)

(以上)